

山江村議会だより

まるおか

No.67

(区の宝：第15区)



①熊山神社（葛）



②熊山神社奥の院（葛）



③伊勢皇大神宮（鳥屋）



④霧島神社（尾寄崎）

写真の説明

- ①雨乞いの神様で②が元の神社であったが現在の場所に移転された。(例大祭：11月10日)
③住民から総氏神のように崇められる天照大御神をお祀りしている神社、お伊勢さんの名称で呼ばれている(例大祭：旧暦9月16日)
④地域の農作物や五穀豊穡の神様(例大祭：11月14日)

目次

- | | |
|----------------------|-------|
| ○平成29年第5回山江村議会定例会報告 | P2 |
| ・平成28年度決算の内容 | P2-3 |
| ・平成29年度一般会計・特別会計補正予算 | P4 |
| ・一般質問 | P6-11 |
| ・議員活動の1コマ | P12 |
| ・編集後記だんだんなあ | P12 |

平成29年10月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

平成28年度一般会計・特別会計

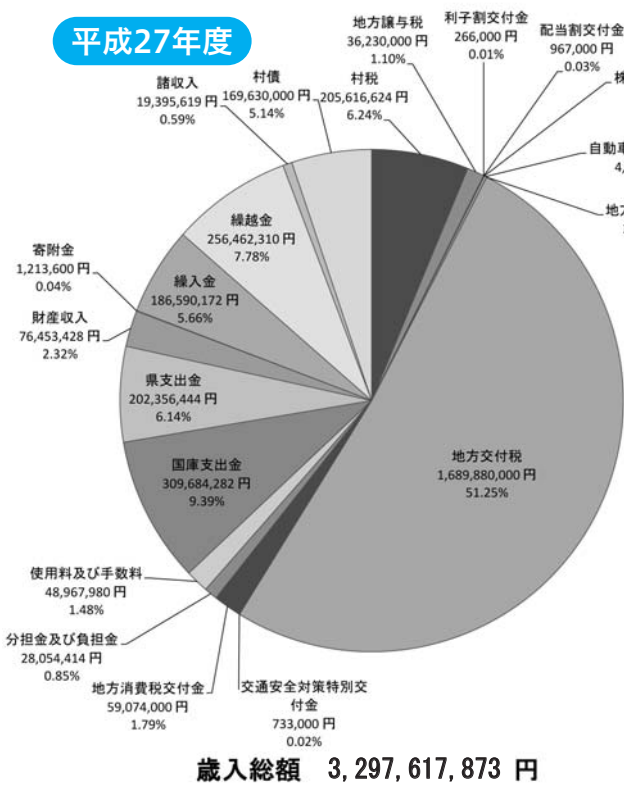
平成29年第5回9月議会定例会は、9月6日から15日までの10日間の会期で開かれました。今回の定例会では、平成28年度一般会計・特別会計の決算認定をはじめ、平成29年度一般会計・特別会計補正予算（9月補正）、熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部改正についてなど16議案、人事案件として、山江村固定資産評価審査委員会委員の選任の同意など2議案が提案され、全て原案どおり可決しました。

また、議会委員会より提案された全国森林環境税の創設に関する意見書についても可決決定し閉会しました。

今議会では14日、15日の2日間、8名の議員が一般質問を行い当面する行政課題等をたしました。

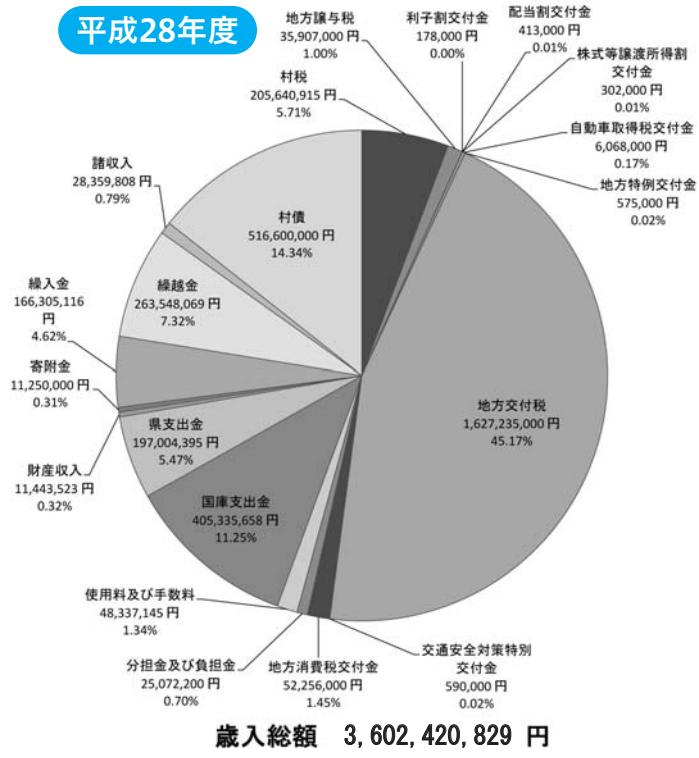
歳入決算前年度比較図

【単位：円, 構成比%】



- 主に増えたもの
- 国庫支出金:95,651,376円の増(対前年度比130.9%)
※国庫(負担金、補助金、委託金)より、事務の全部及び一部が交付される。
(公営住宅建設補助金、地方道路整備交付金、社会福祉補助金等)
 - 寄附金:10,036,400円の増(対前年度比927.0%)
※地方公共団体以外の者から受ける金銭の無償譲渡。
(一般寄附金:ふるさと納税)
 - 諸収入:8,964,189円の増(対前年度比146.2%)
※延滞金、村預金利子、貸付金元利収入、雑入など
(災害見舞金等)
 - 村債:346,970,000円の増(対前年度比304.5%)
※地方税、地方交付税及び国県支出金などの財源以外に長期の借入資金を財源とするもの。
(道路橋梁費債、公営住宅費債、消防費債(デジタル防災無線)など)

- 主に減ったもの
- 地方交付税:62,645,000円の減(対前年度比96.3%)
※村の財政需要に即して必要な財源を確保するために、国民の負担する租税を国と村のそれぞれの財政需要によって配分され、村の財源保障を確保するもの。
 - 地方消費税交付金:6,818,000円の減(対前年度比88.5%)
※県が村の財政基盤の充実のため地方消費税に係る収入の一定割合を村に交付するもの。
 - 財産収入:65,009,905円の減(対前年度比15.0%)
※村の有する財産を貸付したり、又は売却することによる収入。
 - 繰入金20,285,056円の減(対前年度比89.1%)
※一般、特別会計及び基金間を相互に資金運用しているもの。

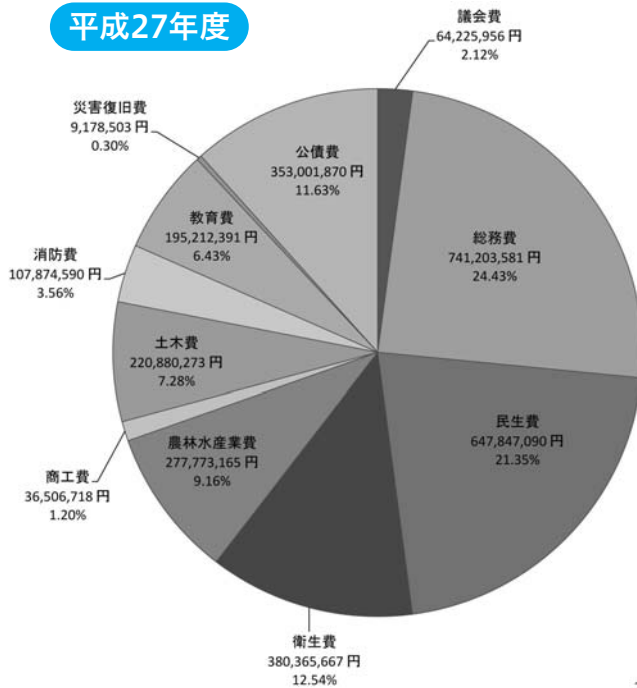


決算を認定!

【単位：円, 構成比%】

歳出決算前年度比較図

平成27年度



歳出総額 3,034,069,804 円

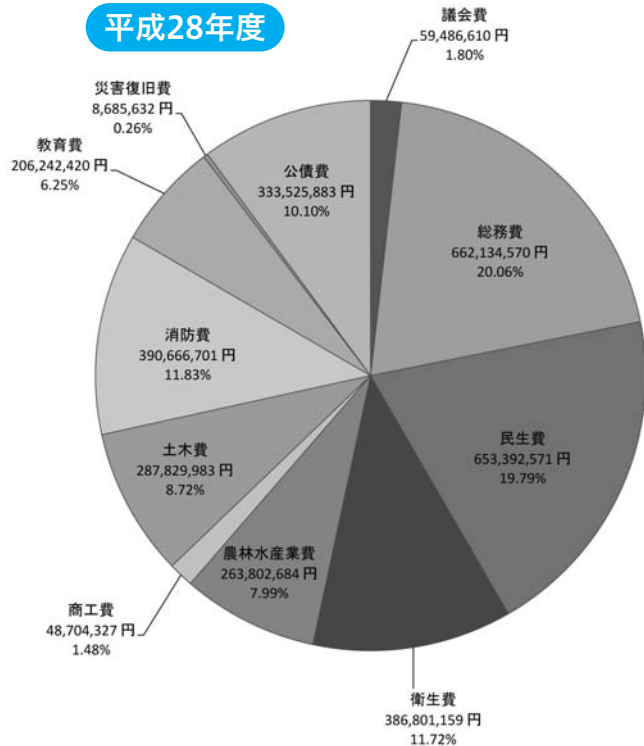
主に減ったもの

- 議会費: 4,739,346円の減 (対前年度比92.6%)
※共済費 (議会議員共済会給付費負担金) など
- 総務費: 79,069,011円の減 (対前年度比89.3%)
※財産管理費、企画振興費、企画情報費など
- 農林水産業費: 13,970,481円の減 (対前年度比95.0%)
※農業振興費、川辺川利水事業推進費、公有林造成費など
- 公債費: 19,475,987円の減 (対前年度比94.5%)
※村債 (起債) 元金、利子の償還金利子及び割引料

主に増えたもの

- 衛生費: 6,435,492円の増 (対前年度比101.7%)
※保健衛生総務費 (国保会計繰出金) など
- 土木費: 66,949,710円の増 (対前年度比130.3%)
※公営住宅建設費 (蕨野団地 5 棟)、下之段橋建設事業費など
- 消防費: 282,792,111円の増 (対前年度比362.1%)
※防災行政無線デジタル化事業費など
- 教育費: 11,030,029円の増 (対前年度比105.7%)
※教育 I C T 環境整備費など

平成28年度



歳出総額 3,301,272,540 円

会計別歳入歳出決算額

【単位：円/ %】

会計名	予算現額	決算額		歳入歳出差引額	執行率	
		歳入総額	歳出総額		歳入	歳出
一般会計	3,788,519,000	3,602,420,829	3,301,272,540	301,148,289	95.1%	87.1%
国民健康保険	604,307,000	604,380,080	562,688,967	41,691,113	100.0%	93.1%
簡易水道	176,874,000	177,107,299	168,747,386	8,359,913	100.1%	95.4%
農業集落排水	141,833,000	142,196,368	134,823,558	7,372,810	100.3%	95.1%
介護保険	440,255,000	440,698,333	390,648,371	50,049,962	100.1%	88.7%
後期高齢者医療	32,025,000	32,082,582	30,780,615	1,301,967	100.2%	96.1%
ケーブルテレビ	46,726,000	46,865,021	39,995,579	6,869,442	100.3%	85.6%
合計	5,230,539,000	5,045,750,512	4,628,957,016	416,793,496	96.5%	88.5%

平成29年度一般会計補正予算

歳入

【単位：千円】

区 分	補正前額	補正額	計	説 明
分 担 金 及 び 負 担 金	14,802	48	14,850	保育料過年度分の増
使 用 料 及 び 手 数 料	47,437	1	47,438	督促手数料の増
国 庫 支 出 金	367,375	839	368,214	社会保障・税番号制度システム整備費他の増
県 支 出 金	192,575	1,571	194,146	住宅改造助成、企業体験推進事業委託金他の増
繰 入 金	163,642	4,627	168,269	特別会計繰入金の増
繰 越 金	104,500	177,030	281,530	繰越金
諸 収 入	32,720	20,176	52,896	日本環境協会補助金他の増
歳 入 合 計	3,219,389	204,292	3,423,681	

◆予備費(48,922千円)	◆教育費(△2,241千円)	◆消防費(26千円)	◆土木費(216千円)	◆商工費(900千円)	◆農林水産業費(6,029千円)	◆衛生費(35,185千円)	◆民生費(6,818千円)	◆総務費(108,437千円)	歳出合計(204,292千円) 主な補正予算の内容はこんなもの！
学校管理費(報償費) △2,784千円 275千円 など	無線技士講習会負担金 26千円	職員住居手当 216千円	企業誘致対策費(修繕費) 800千円	鳥獣被害対策施設整備補助金 3,000千円 高性能林業機械導入負担金 2,600千円	繰出金(国保会計へ) 35,000千円	住宅改造助成 1,400千円 障がい者福祉費国県支出金返還金 1,178千円 慰霊碑支障木材伐採作業委託料 600千円	再生可能エネルギー事業費 9,320千円 移住定住推進費(工事請負費) 3,500千円 まるおか号運行補助金 1,400千円	財政調整基金積立金 6,000千円	

平成29年度 特別会計補正予算(第1号・第2号)

歳出

【単位：千円】

会 計 名	補正前額	補正額	合 計	補正予算額の財源内訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
国民健康保険事業	604,259	67,967	672,226	0	0	0	67,967
簡易水道事業	188,000	635	188,635	0	0	0	635
農業集落排水事業	138,000	3,818	141,818	0	0	0	3,818
介護保険事業	445,000	51,090	496,090	0	0	0	51,090
後期高齢者医療事業	34,000	959	34,959	0	0	0	959
ケーブルテレビ事業	68,000	4,779	72,779	0	0	0	4,779

(国民健康保険、介護保険) 事業は補正第2号

(簡易水道、農業集落排水、後期高齢者医療、ケーブルテレビ) 事業は補正第1号

こんなことが決まりました

山江村固定資産評価審査委員会委員の選任

■住所：山江村大字山田一丸

■氏名：西川 正晴 さん

■住所：山江村大字万江屋形

■氏名：内川 初子 さん

任期：平成29年10月1日

～平成32年9月30日

平成28年度一般会計・特別会計決算の認定

- ・一般会計決算
- ・国民健康保険事業決算
- ・簡易水道事業決算
- ・農業集落排水事業決算
- ・介護保険事業決算
- ・後期高齢者医療事業決算
- ・ケーブルテレビ事業決算

国会等へ提出する意見書 (議員発議)

- ・「全国森林環境税」の創設に関する意見書
内容……

市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする「森林環境税（仮称）の創設」に関し森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるため「全国森林環境税」の早期導入を強く国に対し要望するもの

熊本市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

「公立玉名中央病院企業団」の名称が「地方独立行政法人くまもと県北病院機構設立」へ変更された為、規約を一部変更するもの（同文議決）

平成29年度一般会計・特別会計補正予算

- ・一般会計補正予算 204,292千円追加
- ・国民健康保険事業補正予算 67,967千円追加
- ・簡易水道事業補正予算 635千円追加
- ・農業集落排水事業補正予算 3,818千円追加
- ・介護保険事業補正予算 51,090千円追加
- ・後期高齢者医療事業補正予算 959千円追加
- ・ケーブルテレビ事業補正予算 4,779千円追加

監査委員の審査意見書

平成28年度決算は、一般会計に特別会計を合わせた総決算額においては、歳入5,045,750千円、歳出4,628,957千円で、形式収支は416,793千円の黒字、実質収支は395,785千円の黒字であり、実質単年度収支は23,476千円の黒字となっている。しかしながら、今後も高齢化が進み、医療技術の高度化や高齢者医療受給者の増加等により、医療費等に係る歳出が益々増加するものと思われる。

一般会計の財政状況は、実質収支比率15.1%で前年度より1.7%上昇、経常収支比率は88.6%で0.6%上昇している。財政力指数は0.135で0.005と上昇し、実質公債費比率は9.4%で0.2%下降している。

今後とも厳しい財政状況の中で、自主財源を確保するとともに経常的経費を節約し、積極的に諸事業の推進を図り、一層の計画性と効率性を求め、健全で持続可能な行財政基盤の構築に取り組み、村民の福祉の増進と安心して暮らせる山江村づくりにより一層努めることを望む。

(代表監査委員 木下久人)

一般質問!!ここが聞きたい!!

(一般質問)

質問順	議員氏名	質問事項	ページ
1	松本佳久	○安心安全な山江村づくり政策について	6ページ
2	中竹耕一郎	○観光交流の拠点化をどう企てる ○誰でも喜べる長寿社会の実現に向けて	7ページ
3	立道徹	○国民健康保険について ○ドローンの試行について	7～8ページ
4	西孝恒	○村道神園平山線の道路改良について ○万江神園地区の排水対策について ○通学路の要改善箇所について	8ページ
5	横谷巡	○林業振興、森林保全施策の推進について ○万江小学校の将来の展望について	9ページ
6	谷口予志之	○河川堆積土砂の現実的な対策について ○鳥獣被害対策について	9～10ページ
7	森田俊介	○やまえ栗について ○高齢者に対する熱中症対策について	10ページ
8	赤坂修	○山江村建築物耐震改修促進計画について ○地域版防災マップについて	11ページ

※議会だよりは、文字数が限られているため、一般質問内容のすべてを掲載していません。
また、各議員より提出された原稿のまま掲載しております。

【質問】 情報公開による住民自治の推進、住民を巻き込んだ村づくり政策の展開が重要だと考えるが、村長はどのようにして安心・安全な山江村を作るのか。

【答弁】 「神園地区に計画されている砂防堰堤について」。熊本県は神園地区の葉師谷に、神園1として砂防堰堤建設の計画を進めているが、現在の状況は下流域土砂災害に対する砂防事業の事前調査中。水源利用の受益者、土地所有者、地域の方々の理解がなければ砂防ダム建設は進まないが、この地域は県の平成23年度調査よって土石流渓流域として指定され、下流域はイエローゾーンに指定。万江小学校、万江保育園、自然休養村管理センター等の公共施設もあることから砂防ダム建設の調査

安心・安全な山江村を
どのように実現するか



松本 佳久議員

が始まった。公共工事は地元の了解がなければ前に進むことはできないので、山江村としても地元の意見を十分に熊本県に伝え、何百年以上も利用されてきた水源地や1437年建立の記録がある神園葉師堂を守るようにする。

【答弁】 「下之段橋建設事業について」。平成28年度事業で左岸側の橋台と橋脚1基を建設した。工事完了が遅れて梅雨期にかなり心配したが、今年は集中豪雨がなかったのが被害は出なかった。受注業者は地域貢献として周辺の除草作業等がされた。平成29年度は右岸側の橋台1基と上流側堤防16mの工事を予定しており、早期発注、早期完成に努める。今後は、平成30年に橋脚1基、平成31年に橋桁工事、平成32年に既設橋撤去の予定。下之段橋上流の堤防建設については、引き続き熊本県へ要望中。

【答弁】 「村道城内神園線について」。平成15年に地元から請願書が提出されたこの道路は、平成23年度から3ヶ年の工事により城内地区内は完成している。全体的な基本設計は出来ているが、神園地区内の用地の一部が地権者の理解が得られず今後事業用途はたっていない。地元の協力もお願いして前に進めたい。

一般質問



中竹 耕一郎 議員

観光交流の拠点化を どう企てるのか

【質問】 合戦の峰観音堂周辺の整備状況について。

【答弁】 地元説明会を終了し、今後、建築工事入札を行い、平成30年2月末を竣工予定である。春の彼岸には利用可能となる見込み。

【質問】 平成27年日本遺産認定された後の観光客も含めて参拝者の動きは。

【答弁】 認定後、年間5000人となり増加した。同様に高寺院、歴史民俗資料館の入館者数も増えた。

【質問】 改正予定の文化財保護法に合わせた本村の取組みは。

【答弁】 文化財保護の現況を鑑み、保護法の主旨を理解し文化財等の洗い直しを図り新たな事業計画を作成したい。

【質問】 合戦の峰観音周辺整備事業は日本遺産活用の具体的な事業の突破口であり、人吉球磨に取って画期的

である。素直に評価したい。普通財産である堂周辺の土地建物の取扱はどうするのか。

【答弁】 無償貸付としたい。各種公共料金については負担すべきと考えている。

【質問】 展望所、物産販売所の運営は合戦の峰地区に全てお任せするのか。

【答弁】 地区での協議を踏まえ、円滑な運営、組織づくりの支援をしている。

【質問】 100人委員会との連携は。さらに外国人観光客への対応は。地域おこし協力隊の活用は如何。

【答弁】 観光部会に期待をし、資金面でも支援する。外国人案内には多言語案内板等検討する。地域おこし協力隊は旅行業取扱管理者の資格がある。最大限活用していく。

【質問】 観光交流拠点として定着させるための支援策は。

【答弁】 遺産活用を通して、観光交流で稼ぐ仕組みづくりをつくる事が地方創生に繋がる。文化財保護の計画も稼げる力を付けることをめざしたい。村内の資源の価値を見出し、今後交流促進協議会なるものを立ち上げたい。

喜べる長寿社会をめざす 認知症対策について

【質問】 喜べる長寿社会をめざしていくが、村内で認知症と推測される状況は如何。原因は。そしてその予防策は。

【答弁】 割合として13.4%程度である。脳機能の低下が主たる要因である。予防策は地域包括支援センターで各種事業を行う。既に、認知症初期集中支援検討委員会を立ち上げ専門医に繋げるようにしていく。

【質問】 早期発見の視点から、70歳を目途に簡易診断テストを制度化する計画は。

【答弁】 認知症は厚労省診断基準、国際統計分類の基準に依って医師で診断されている。保健師では判断が難しい。今後費用など勘案し導入の検討を図る。



立道 徹 議員

国民健康保険は これからどうなるのか。

【質問】 国保税が高くなった理由と高くなった説明はされたのか。

【答弁】 国保税が上昇している要因としては、加入世帯の所得の上昇が考えられる。国保税を算出する根拠として、加入世帯の前年の所得等により、課税標準額を算出し、税率を掛

けて国保税を割り出している。また、社会保険から国保加入した世帯も考えられる。説明については、所得が税額に反映するなど記載の「国保税のしくみ」というものを本算定時に同封し、税額が昨年度より増額された加入者には高くなった理由を文書にして紙の色も変え、同封している。また、電話や窓口にて説明している。

【質問】 今後、国保税は上がるか。現状維持か。下がるか。

【答弁】 現在、県及び運営協議会等で検討中であり、年内、年明けには税率案を示すということで、予想としては現在の当村の税率と同等程度の率になる。税率を下げる手段は、村全体の医療費を抑えることである。健康第一で自己管理、健康診断の受診、早期治療を行い重症化防止を行うことである。

【質問】 予防医療と健康増進への取り組み状況は。

【答弁】 予防医療には3段階ある。一次予防…高血圧予防に塩分を控える。肥満予防に運動をする。体の状態を確認するための特定検診の受診である。二次予防…人間ドッグを受け、病気を発見する。または、糖尿病患者が血糖をコントロールして、合併症を防ぐ。三次予防…再発防止対策や社会復帰対策を行う。つまり、脳卒中患者の機能回復訓練、腎不全患者への人工透析、後遺症の治療。当村では、集団施設検診・人間

ドッグ・歯周疾患検診・がん検診等を年1回行い、申し込みがない方には個別訪問による受診勧奨を続けている。健康増進については、健康とは肉体的・精神的・社会的に全てに満たれている状態であり、健康の3大要素は運動・栄養・休養と言われている。当村では、40歳以上の方へ健康手帳の交付、健康教育の実施、健康相談、訪問指導等を実施している。健康手帳では、特定検診・保健指導の記録、予防接種の記録等を行っている。

健康教育

病態別…胃がん・大腸がん・慢性

一般…生活習慣病・認知症・転倒などの予防の教育

健康相談

生き生きデイサービス事業

各地区の公民館事業時…指導、相談訪問指導

検診後の指導

高齢者の方…元気が出る学校・

たっしゅかクラブ

質問 地域づくり研究所のICTで医療費の推移・疾病の要因、検診の状況のデーターを分析し、医療費、国保税の削減を図る考えはないか。

答弁 個人情報報も含まれているので困難である。しかし、客観的な指標などを用いて、原因・課題の整理や地域性・社会性の視点からの分析、改善策などの調査、研究は可能ではないかと考えている。



西 孝恒 議員

村道神園平山線の道路改良はいかに

質問 神園平山線の起点から丸岡農道までの区間の拡幅工事については。

答弁 未改良区間であるが協議が進まず、一部相続登記等の問題もある。また終点側三叉路部分は県が農道整備事業で行なった道路であり、改良には、一定の期間が必要で改良計画は進まない状況である。

質問 区間の中間地点は離合箇所があるが、ここから三叉路まで特に狭く地形的に危ない状況である。この部分的な拡幅工事については。

答弁 起点、終点の用地のめどがたなく、計画全区間において改良できない状況である。起債事業等の採択要件も見込めないことで、財源の一般単独持ち出しということになり部

分改良は現在考えていない。

質問 山田万江線の道路改良について村長の見解は。

答弁 山田地区と万江地区を結ぶ道路は長年の念願と考える。今回の部分的な改良工事とその補助事業や起債を事業として取り組みできた時点で、全線を開通させたい。



改良が進まない村道神園平山線

豪雨時の神園地区の排水対策は

質問 神園地区の道路側溝は、豪雨時に排水が難しい状況になることについて執行部の考えは。

答弁 県道の側溝が溢れる要因は山の急斜面から大雨時は大量に側溝に流れ込むのが原因の一つ。流れない

原因は大雨時に河川の水位が上昇した時に発生するかと思われる。万江川の想定外の増水時は情報確認し、早めの避難が身を守る手段と思う。

質問 神園地区の県道側溝改修については。

答弁 万江小前の側溝のかさ上げ工事を行っている。本村としても県道整備と併せ側溝の補修工事の要望して行きたい。

通学路の要改善箇所について

質問 主に万江小学校前の県道歩道の老朽化や危険箇所改修については。

答弁 県へ毎年のように道路側溝歩道整備等要望を行っているところである。今回危険と思われる箇所は関係機関と協議しながら整備を進めるようにしたい。

質問 横断歩道やダイヤマークの標示や速度標識も風化し、目立たない状況であるが改善については。

答弁 村内各学校の通学路の合同点検において、状況の確認をしている。交通規制にかかる標示標識等は警察のほうで改善されると判断している。

一般質問



横谷 巡 議員

林業就業者の育成と森林の適切な管理を促す対策は

質問 森林資源の現状を捉えた森林経営計画の策定の考えは。

答弁 国において新たな税制改正の動きがあり、今後どのような林業経営をしていくのか、現状に即した森林経営計画の作成を行っていく。

質問 意欲ある林業就業者を募集し、研修の場として本村の村有林や万江川木のふれあい館などの公共施設を使い、林業者や森林組合等が指導者となり、中・長期的な研修を行う考えは。

答弁 募集した人がこの事業主体として帰属しながらその人を雇用していくのか、それに対して役場がどういう支援をしていくのか課題もあるので、提案としてしっかり受け止めていきたい。

質問 九州北部豪雨災害の一因に大量の人工林流木が挙げられる。防災の観点からの森林の適切な管理を促す取り組みが必要だと考えるがどうか。

答弁 森林が有する土砂崩壊防止機能の限界を超え、山共々滑り落ち大量の流木が出たと言われる。森林の適切な管理について積極的に推進していきたい。

質問 間伐等の森林整備には、財源として期待される森林環境税の創設が不可欠である。更なる強い要望活動をお願いしたいが見解は。

答弁 十一月に町村会で要望活動を行うが、最後の詰めとしてしっかりと要望活動を行いたい。

統廃合は考えず、少人数で最大の効果を発揮する教育を

質問 万江小学校の今後の児童数の推移と学力を育み、地域と共に歩む学校経営の状況はどうか。

答弁 五年間の児童数の推移は大体四十名前後で推移していく。地域住民の方々から協力をいただき、少人数という個の状況を把握し適切な指導を行い、基礎学力の定着を図っている。

質問 小規模校として教育上の諸課題はどういうものがあるか。

答弁 人間関係や集団における立場が固定化されやすい傾向や授業では少人数であるために多様な意見が出てにくいということ、練り上げて最適化を見つけるような学習形態が取

りにくい現状もある。中学校、高校等に進学する際、大きな集団への適応とする面で少々心配する面もある。

質問 諸課題の最小化を図るため、ICTを活用した学習活動の考えは。

答弁 複式学級での効果的活用、少人数学級と普通学級との合同学習の実施など、小規模校ならではのICT活用の可能性を探っていきたい。

質問 万江小学校はどのような学校をめざすのか。

答弁 小規模校の特色を生かし、基礎・基本学力の向上に努め、地域の自然、文化、歴史、産業を学び、地域と村を誇りに思うような子供たちが通う学校にしていきたい。

質問 最後に、万江小学校の将来の展望について教育長の見解は。

答弁 全国的に統廃合が進んでいるが、地域の拠点として地域住民から広く愛されている学校であり、現段階では万江小学校の統廃合は考えていない。



谷口 予志之 議員

河川の堆積土砂の現実的な対策は

質問 堆積土砂の対策について、整備状況と今後の計画は。

答弁 昨年は、一か所ずつ行ったが、今年度は、県としては各市町村1カ所が原則ということであった。

質問 堆積土砂の土捨て場について国は、球磨管内の森林を林地開発許可を申請中とのことであったが、申請の許可は下りたのか。

答弁 国は、その場所を指定したようであり、県、市町村もその箇所と契約をすれば、いつでも捨てられる。村内の土捨て場については、ある地権者には相談して、その地域でまとめることはできないかという相談はしている。

質問 河川の土砂堆積状況を地図上に落とした河川の土砂堆積対策マップ等の考えはないか。

答弁 県も村も土砂堆積対策マップ等の作成は考えていない。

質問 河川が氾濫した場合、大きな災害で被災を受けるのは村民である。山江村防災マップに記載をする考えはないか。

答弁 河川に堆積した土砂による河川の氾濫、それによる浸水区域というのは当然考慮に入れるべき、地域の方々と現地を点検しながら、地域の特性に合うよう地域の方々の意見を取り入れたものにはしていきたい。

早急に鳥獣被害対策を

質問 鳥獣被害対策施設整備事業等による被害の状況に変化、また効果があったのか。

答弁 被害額の数字が減ったのと、有害鳥獣の捕獲の頭数が年々減少しつつあり効果はあるが、被害防止対策は今後も必要である。

質問 捕獲従事者の新規取得者の状況と今後の捕獲従事者の確保についての考えは。

答弁 わなの新規取得者が5名、銃器が、1名である。しかし、この4年間は誰もいない。捕獲従事者も高齢化している。今後、この捕獲従事者の確保の対策を図る必要がある。猟友会が減少して有害鳥獣の駆除が十分にできない場合には、猟友会との調整も必要だが村が駆除の専門員を雇用することも視野に入れながら考える必要がある。

質問 アナグマの生息の実態と被害の状況、被害額等はどうか。

答弁 実質の被害額は約10万円位と推計している。今後、この被害額を増大させないような施策が必要。

質問 農作物の被害額や生活被害も考えられる。アナグマに対する捕獲額と今後の対策と捕獲に対する補助額の増額の考えは。

答弁 捕獲の助成金は1頭当たり1000円。捕獲頭数の少ない要因で

あれば、助成額の増額も今後検討する必要がある。対策として村で箱かなを購入し村民の方に無料で貸し出すとか今後検討していきたい。

意見 サルは丸岡でも見かける。栗の最大収穫地である丸岡にサルが上がつて来たら栗も危機的な状況になる、危機感を持って早急にサル対策についても対応されることを期待する。



森田 俊介 議員

やまえ栗の増産をどう考えているか

質問 最近では生産者の減少や高齢化、後継者不足から出荷生産額も年々減少し、約185戸まで減っている状況である。3000トンの出荷、生産を目指すと言われているが。

答弁 栗農家と数は、年々減少している。簡単にはいかないと認識しているが、今後は、まずは2000ト

ンを目標に精一杯支援していく。

質問 平成28年の栗農家のための補助金支出額は。

答弁 平成28年の栗に対する補助金は、300万円程度補助している。

質問 平成29年度からは、栗の肥料補助が変わると聞いたが。

答弁 購入額の80%で上限なしで、粒状熊本栗有機特号、有機栗一発という肥料の二種類を選定。

質問 山江栗の名前は薄れつつある。物産館を中心に集荷、出荷をし山江村独自の選別機械、ペースト機械の導入はないものか。

答弁 農協のクマレイにお願いして山江栗を持ち込んでいた状況でありまして、クマレイもある意味では委託事業であります。

質問 山江村活性化支援交付金事業、3年目で終了なのか。

答弁 今年度で終了です。補助事業に対しまして、地方創生交付金事業の新しい事業のメニューを検討する必要があります。

質問 外国人就職農業への提案、国家戦略特区を国に提案し、山江村も名乗りを挙げ、要望する考えは。

答弁 誰が受け入れるのか、体制がしっかりしているのか、状況を見ながら考えるべきだと思う。事業メニューを模索していきたい。

意見 第一次産業から第六次産業までをしっかりと足を踏まえ、生産、加工、販売のスムーズな流通になるよう期待する。

高齢者の熱中症対策は



大勢の人でにぎわう「栗祭り」

質問 今年も自然災害や地震、火災など、全国的に多発している。猛暑で35℃から40℃の暑い日が続いた。各公民館に空調設備、クーラー等設置はできないか。

答弁 山江村地域自立支援事業があるが、平成29年度の予算総額は、60万円。一地区20万円が限度であるので、空調設備設置のための支援事業ではないが区長を通じて相談願いたい。

一般質問



昭和12年建築の「時代の駅むらやくば」

質問 耐震診断未実施となっている「時代の駅むらやくば」の耐震化状況は。

答弁 平成17年に改修工事を行っており、新耐震基準に適合している。促進計画が間違っており、お詫びをし修正する。今後、多くの方々に安心・安全にご利用いただけるよう施設管理に努めていく。

耐震化率向上に向けて積極的な取り組みを



赤坂 修 議員

質問 平成29年度実施予定の耐震診断、耐震改修補助金の要綱の制定は。

答弁 本年度から戸建木造住宅耐震診断事業補助金要項と耐震改修事業補助金要項を制定した。

質問 本年度予算に計上されている住宅・建築物耐震改修補助金の利用状況は。

答弁 村民の方への周知が行き届いていないということで現在利用がない。今後、広報、ケーブルテレビを利用して周知を図っていく。

質問 地域版防災マップの更新の時期及び更新時の地区負担金は。

答弁 更新については、役場で行い補助金を活用し地元負担は考えていない。

質問 避難行動要支援者の対象人数・名簿情報提供同意人数は。

答弁 対象人数428名・同意人数35名。

質問 戸別訪問による同意取得は行っているのか。

答弁 戸別訪問は行っていない。今後、戸別の訪問を行いながら、制度の理解と同意取得に向けて取り組んでいきたい。

質問 災害対策基本条例は策定されているのか。

避難行動要支援者対策を積極的に



地域の実情にあった防災マップづくり

答弁 制定されていない。

質問 現在、避難行動要支援者情報の提供は災害が発生すると予想される場合以外は本人の同意が必要であるが、支援機関での情報の共有、日頃からの要支援者との交流や見守りは、いざ災害が発生した場合に重要と考える。平常時から名簿情報を提供できる旨を災害対策基本条例で定めた場合、本人の同意がなくても情報提供できるが、基本条例制定の考えは。

答弁 現在、災害対策本部等の設置、運営マニュアル、危機管理規定基本マニュアル等を策定し、対応できると考える。ただ、当然その災害基本条例を定めてある自治体もあるうかと思うので、必要とあれば先進的事例を研究し、議会へも相談していきたい。

議会を傍聴してみませんか。

村民の皆様には、議会傍聴（議場）にぜひご参加下さい。また、ケーブルテレビでの視聴のご意見等をお聞かせ下さい。定例会の日程等の問い合わせは、議会事務局までお願いします。

TEL: 23-3401

お知らせ

次回の議会定例会は
12月開催です。

「議員活動の1コマ」



国会議員へ山江村主軸事業を要望 及び先進地行政視察

山江村議会は、8月29日～31日までの3日間にかけて、平成30年度山江村主軸事業の要望活動と、和歌山県北山村、九度山町の農林業振興、移住定住、ふるさと納税等の行政視察を行った。29日には、県選出等の国会議員（4名）会館を訪問し主軸事業の要望書を手渡した。30日、31日は今後、村の施策に生かすことを目的に筏下りと特産物のじゃばら（柑橘系果樹）で有名な北山村の特産品開発とふるさと納税、富有柿と戦国武将「真田幸村」親子が14年もの隠棲生活を送った地として有名な九度山町の観光振興や農林業振興の行政視察を行った。



平成30年度主軸事業要望書を松村参議院へ提出



観光振興の概要説明を受ける（九度山町）



特産品じゃばら（柑橘）の現地視察（北山村）



観光の目玉の筏下り（北山村観光センター）

公共工事の進捗を調査！

平成29年度公共工事等（9月までの事業）の現場7か所の完成・進捗状況の現地調査を定例会会会期中の9月8日に行った。また、今後改修が必要と思われる施設等の確認調査も併せて行った。



山田小学校門扉取替工事



村宮蔵野団地完成：5棟（西川内）

だんだんなあ

「天高く馬こゆる秋・・・」平成29年も残り2ヶ月あまり、自然環境のなかで、台風や長雨が続き、農作物の成長、収穫が遅れ、栗、果実等、また稲作もやや減少したとか！鳥獣被害も多く、新たな対策も考えなければならぬと思います。

天気の中で、延期や中止になったイベントやスポーツ大会など、大変な影響があり、関係者の皆さんは大変だっただろうと、感謝いたします。

また、2年10ヶ月ぶりの突然の衆議院解散、また、新しい党、党の分裂、合併など国民にはあまり理解できない点もありましたが、結果的には自民党圧勝という選挙になりました。人吉球磨を含む新熊本4区初めての選挙、代議士2名（比例区含め）が当選され、衆議院、参議院で人吉球磨出身者が3名となりました。人口減少の中、驚きもありますが、県南地域の発展のため、住民の声を国政に反映され地方を守り抜くためにも、国会議員の方々と意見を通し、私達議員も村政策に頑張っているかなければなりません。

人口減少の中で「一票の格差是正」地方議員を減らしてよいのか？疑問を踏まえ考えなければならぬと思います。

（文責 森田 俊介）

【議会広報編集委員】 委員長／立道 徹 副委員長／森田 俊介 委員／西 孝恒・赤坂 修